

弁護士・裁判官・検事を目指す



基礎講座

法律知識ゼロから司法試験合格を狙う！



TATSUMI が叶える、
新しい学びのカタチ。
サブスクで無理なくスタート、
はじめの一歩。

年間サブスク スタンダードプラン

最もコストパフォーマンス良く
合格を目指す

237,600円（年額）
(実質月額 19,800円相当)
【視聴期間】契約期間中 無期限

期間限定 20% OFF
1年 190,080円 (税込)

基礎講座 正規受講料
496,200円(税込)が、
東京大学生協なら
20% OFF

2026年
1/15まで

例えば

年間サブスク
スタンダードプラン
実質月額
15,840円 (税込)



*辰巳価格￥496,200(税込)を東京大学生協にてご購入の場合。

New基礎講座のサブスクプラン

始めやすく、続けやすい。
学習スタート時の負担を軽減しました。

※分割払いではないので、金利手数料不要



詳細は
こちら



サブスクでスピーディに!

最もコストパフォーマンス良く
合格を目指すサブスクプラン

年間サブスク

スタンダードプラン



237,600円(年額)
(実質月額 19,800円相当)

【視聴期間】契約期間中 無期限

お得!

期間限定 20% OFF
1年 190,080円

一括でじっくりサポート!

特典書籍や講師サポート等フルパッケージで
合格サポートを受けられる一括購入プラン

一括購入

プレミアムプラン



496,200円(買い切り)
(実質月額 20,675円相当)

【視聴期間】最大2年間受講サポート

期間限定 20% OFF
2年 396,960円

✓ **圧倒的コスパ**: 1年間聴けて 190,080円 (月々換算 15,800円 / 生協期間限定割引適用時)。正規受講料の約38%で1年間圧縮受講できます。

✓ **年間通した学習支援**: ①短答復習アプリ②定義記憶アプリに加えて③受験情報季刊誌『Hi-Lawyer』1年分4冊も贈呈。

✓ **継続は力なり**: 1年間受講後、さらに年間更新することも、ライトプランに切り替えて未了の科目や繰り返し聴きたい苦手科目の復習など、延長してピンポイント学習することも可能です。

✓ **盛りだくさんの福袋**: ①スタンダードテキスト10冊 ②短答過去問パーフェクト全8冊 ③受験季刊誌『Hi-Lawyer』2年分 ④学習支援アプリ ⑤講師とのマンツーマン指導4回など

✓ **余裕のスケジュール**: たっぷりMax24ヶ月受講できるので、視聴期間に忙しなく追われることなく、落ち着いて計画を進められます。中上級者になっても繰り返し聴けるのでより理解が深まります。

✓ **継続は力なり: 講義音声をダウンロード**できるので、スキマ時間も有効活用できます。

辰巳のNew基礎講座 [講座仕様]



辰巳・司法試験合格プロデューサー
原 孝至 先生

解くため、書くための 思考と知識を習得します。

勉強開始段階から問題に挑むことで、
実践的なアウトプットを重ねる。
私たちは、あなたと一緒に合格への
最短ルートを描きます。

New 基礎講座

基礎集中講義 全 312 時間 ※ 1unit = 1 時間

36h 本体講義 276h

導入
講義

憲法
30unit

民法
66unit

刑法
45unit

商法
30unit

民事訴訟法
27unit

刑事訴訟法
27unit

行政法
27unit

民実
12unit

刑実
12unit

基本事例 100 選 7科目 全 48 時間 全 96 問

オリエンテーション / 憲法 / 民法 / 刑法 / 商法 / 民訴 / 刑訴 / 行政法

ロースクール
入試対策
講座

予備試験
対策講座

「基礎集中講義」は「考える力」を効果的に鍛えることに重点を置いています。

基礎集中講義

目標 • 法律知識習得
• 短答式問題を解ける

△ 担当講師

インプット偏重の旧来の入門講座ではなく、予備試験の傾向に合わせ、短期合格者の勉強法を取り入れた司法試験基礎講座です。講師は基礎講座担当歴 10 年以上のプロ講師・原孝至先生です。原先生の講義は「法律の講義なのに授業が面白いのは初めて」、「1 時間の講義があつという間」と評判です。ぜひ YouTube の無料体験講義を受講してみて下さい。他校の基礎講座とは違うと思って頂けるはずです。

△ 教材について

法律資格専門予備校として 50 年の歴史を持つ辰巳法律研究所が作った「スタンダードテキスト」と初学者でも勉強しやすい論文問題を全科目で 100 セレクトしたアウトプット教材「基本事例問題 100」をご用意しました。予備試験合格に必要な知識の 9 割が網羅されています。

「考える力」を「書く力」へ、論文式のスタートアップ講義。

基本事例 100 選

目標 • 事案の分析力を磨く
• 論文の書き方の基本を体得



△ 短文事例 96 問で効率学習

「基本事例問題 100」は、予備試験・司法試験に必須の論文力を効率よく養成するための短文事例集。コンパクトな設問で、重要論点に絞った学習が可能。限られた時間でも、実戦的な答案作成力を無理なく積み上げることができます。

△ 問題の本質をつかむコンパクトな解説講義

1 問あたり 20 ~ 30 分の講義で、論点の理解はもちろん、答案構成のポイントや注意点まで丁寧にフォロー。自宅学習でも「わかる」「書ける」を実感できます。

△ 論理力・記述力を強化

試験で求められるのは、知識だけではなく、それを論理的に構成して記述する力。この 96 問を通じて、論証パターンの習得と、答案として表現する技術を集中的に強化。論文試験で「通用する力」を短期間で養います。

わかる

書ける

法律は最強の武器だ。

これは単なる学習ではない。司法試験・予備試験合格に向けた
プロの思考回路を最短で手に入れるためのロードマップだ。

⚖️ 民事系：公正な社会生活の原理

「市民 vs 市民」の関係を規律し、財産や取引、紛争解決のルールを定めます。
実務において最も基本的かつ重要な分野です。

科目	何を学ぶのか	なぜ学ぶのか	将来役立つ力
民法	市民生活におけるトラブル解決の基本ルール。未成年者の保護や取引の安全といった、利害関係のバランスの取り方を学びます。	誰もが安心して社会生活や経済活動を送れるよう、公平な紛争解決の指針を提供するためです。	身近な日常生活のケースを素材に、どのような条件が揃えばどんな権利や義務が生じるのか、三段論法という法律家の頭の使い方を最も徹底的に習得し理解する戦略的思考が身につきます。
商法	会社の運営や株主・役員に関するルール。複雑な条文から、ビジネス上の問題を解決する論理展開を学びます。	会社運営の安定と、株主の権利を公正に確保し、健全な経済活動を支えるためです。	複雑なルールを正確に読み解き、ビジネス上の問題を解決する高度な専門知識と論理力が身につきます。
民事訴訟法	裁判になってからの進め方、すなわち民法で学んだ権利義務を裁判所でどう実現するかという「手続きの設計図」と運用の仕方を学びます。	当事者間の公平性を保ち、裁判を公正・迅速に進めるためです。	訴訟の骨組みを理解し、「何を主張・証明すれば勝てるか」という戦略的な思考が身につきます。

⚖️ 公法系：国からあなたを守る盾

「公権力（国や自治体）vs 国民」の関係を規律し、個人の権利が不当に侵害されないよう、チェック機能を果たす役割を担います。憲法が抽象的なルールを定め、行政法がそれを具体的な行政活動に落とし込みます。

科目	何を学ぶのか	なぜ学ぶのか	将来役立つ力
憲法	国家と国民の関係を定めるルールブック。人権制約の判断や、三権分立による統治機構を学びます。	国家権力による人権侵害を防ぎ、国民の自由と権利を未来永劫にわたって守るためです。	ある行政処分や法律が「合憲か違憲か」を判断する、法律家としての鋭い思考プロセスを習得します。
行政法	憲法が定めたルールを、具体的な行政の現場でどう適用するかを学びます。	国民が行政活動によって不利益を被らないよう、適正な手続きと人権保障を具体的に担保するためです。	抽象的な人権保障が、現実の行政の場でどのように実現されているかを理解する実践的な視点を身につけます。

⚖️ 刑事系：人権保障の最前線

「犯罪」という社会を脅かす行為に対し、国家がどう対応するかを規律します。
特に「冤罪防止」が最大の目的です。

科目	何を学ぶのか	なぜ学ぶのか	将来役立つ力
刑法	どんな行為が犯罪で、どんな刑罰を科すかを学びます。犯罪体系論という厳格な論理フレームワークを学びます。	人の生命や身体といった法益を守ると同時に、冤罪を防ぐため、犯罪成立のプロセスを厳密に判断するためです。	複雑な事実関係から因果関係を導く、高度で緻密な分析力が養われます。
刑事訴訟法	犯罪の捜査（逮捕・証拠収集）や公判の手続きを学びます。強制処分か任意処分かの判断など、捜査の適法性を判断する力を養います。	冤罪という究極の人権侵害を絶対に防ぐため、国家権力の行使を厳しく監視するためです。	身体拘束を受けている被疑者の人権と防御権が最大に保障される適正な仕組みを理解し、人権保障の最前線で求められる知識を習得します。

東京大学生協ならお得に申込が可能です。